



セネガルの子どもたちに教育を！

# バオバブの会 ニュースレター

2012年 No.4  
(通巻25号)  
10月7日発行

暑く長かった夏もようやく終わり、快い季節になりました。  
皆様方にはお元気でお過ごしのことと思います。  
今回のニュースレターは、秋の活動のお知らせを中心にお届けいたします。  
皆様、どうぞ、お誘い合わせてお出かけ下さい。

## ★★★ 『よこはま国際フェスタ2012』 出展 ★★★

<http://yokohama-c-festa.org/>

日時：2012年10月20日(土)・21日(日) 10:30~16:00 小雨決行・荒天中止  
会場：象の鼻パーク みなとみらい線 日本大通り駅より徒歩5分 JR・横浜市営地下鉄 関内駅より徒歩15分  
主催：よこはま国際フェスタ2012プロジェクト

構成団体：(特活)横浜NGO連絡協議会 公益財団法人横浜市国際交流協会(YOKE)

JICA 横浜 横浜市政政策局国際政策室 (特活)教育支援協会 日本赤十字社神奈川県支部

地図は「象の鼻テラス」さんのものを流用させていただきました。

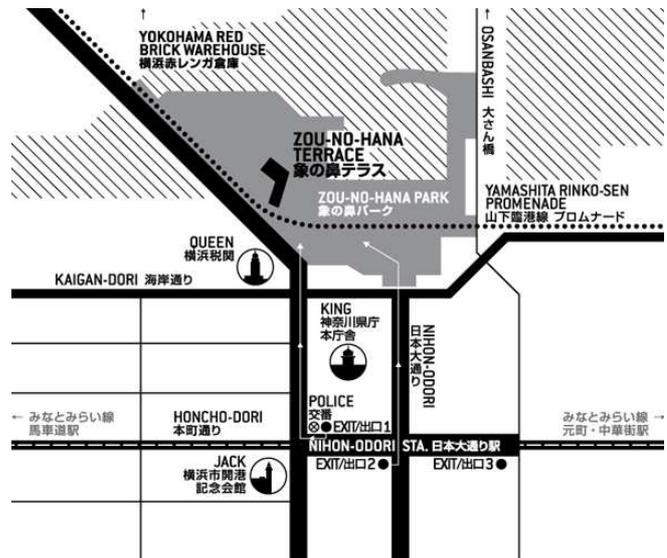
国際協力・国際交流・在住外国人支援に取り組む諸団体の活動紹介と、団体相互の連携を図って開催される、神奈川県最大規模の国際フェスティバルですが、今年は、来年6月にTICAD5(第5回アフリカ開発会議)が横浜で開催されることをふまえ、テーマのひとつに『アフリカと友だちになる』をかかげ、アフリカゾーンの特設等が行われます。

バオバブの会は、世界の食ゾーンに出展し(ブース番号314)、マフェ(トマトとピーナツソースのビーフシチュー\*)、ヤッサ(マリネしたチキンと玉葱のシチュー\*)、ベニエ(ココナツとレーズン入りアフリカンドーナツ)、アターヤ(セネガル風ミントティー)の他、ケベサック(セネガルのお母さん達手作りのアフリカプリント布バッグとポーチ)、アフリカ関連児童書等を販売する予定です。

ブース内では、展示による活動報告を行います。

\*マフェとヤッサは、会場の都合により、今回も、ライスではなく、パン添えになる予定です。

\*ケベサックにつきましては、新作も含めた100点以上の新入荷品を販売いたします。



♥♥♥ 『世界の教室 セネガル編』参加 ♥♥♥

日時：2012年11月11日（日）14:00～15:00

会場：あーすぷらざ（神奈川県立地球市民かながわプラザ）<http://www.earthplaza.jp/>

JR根岸線本郷台駅 改札を出て左手に歩き、信号を渡ると前方にあります（駅から徒歩3分）。

5階 こどもの国際理解展示室

主催：あーすぷらざ

主に幼稚園児～小学校低学年くらいまでの子ども向けのイベントです。

紙芝居やゲームを通して、セネガルの文化や子ども達の暮らしを紹介します。

事前申し込みは要りません。当日、直接、会場にお越し下さい。

入場無料（但し、5階常設展示室への入場料が必要です。未就学児：無料 小・中学生：100円 高校生・学生・20歳未満の方と65歳以上の方：300円 大人：400円）

★★★ 『福引き2012』開催 ★★★

募金活動の一環として、バオバブの会創立以来6回目、任意団体移行後からは2010年に続き3回目の福引きイベントを開催します。

福引きチケットは、前回同様、1枚1,000円です。

賞品は、セネガルまたアフリカの魅力をお伝えできるような民芸品、アクセサリ、ケベサック、音楽CD、アフリカ関連児童書などを、多数、ご用意しています（空クジはありません）。

多くの皆さまのご協力を心よりお願い申し上げます。

購入をご希望の方は、次の方法でお申し込み下さい。

1. お近くの会員にお声をかけて下さい。
2. バオバブの会HP内 <http://the-baobab.org/index.html> の「お問い合わせはこちら」[baobab.org@ne.jp](mailto:baobab.org@ne.jp) に、「福引きチケット購入希望」、枚数、お名前、ご住所、お電話番号を明記し、お申し込み下さい。

★★★ 福引き2012抽選パーティー ★★★

★★ ひとときのセネガル体験を、一緒に楽しみましょう！ ★★

日時：2012年12月2日（日）15:30開場 16:00開始 18:00終了予定

会場：ニューロカフェ東京 <http://tokyo.neuro-cafe.com/>

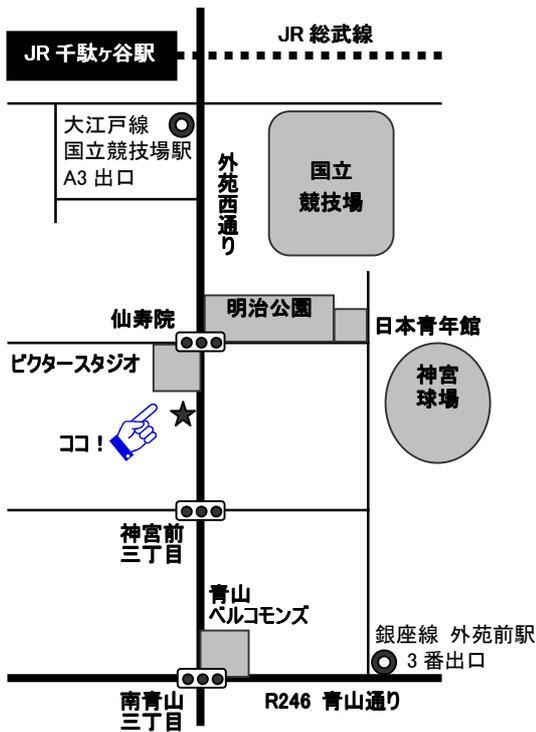
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2丁目13-2 2F

当日の連絡先（ディウフ携帯：090-6111-8158）

東京メトロ銀座線外苑前駅3番出口より徒歩12分

都営地下鉄大江戸線国立競技場駅A3出口より徒歩5分

JR千駄ヶ谷駅より徒歩10分



外苑西通り沿い、ピクタースタジオの並びにある、1階に  
HENDRIX BARがあるピンク色のビルの2階です。  
エレベーターでお上り下さい。

★会費：1,000円（セネガル料理軽食付き）当日、受付にてお支払い下さい。

★イベント内容：セミナー「学校の子どもたち」（仮題）、活動報告、福引き抽選、ゴスペル with アフリカンドラム ミニライブ ★定員：30人まで

福引きチケットを購入された方も購入されなかった方も、どなたでもお申し込みできます。

先着順の受付となりますので、参加ご希望の方は、お早めに、下記の方法でお申し込み下さい。

お申し込み方法：バオバブの会HP <http://the-baobab.org/index.html> の「お問い合わせはこちら」  
[baobab.org@ne.jp](mailto:baobab.org@ne.jp) に、「福引き抽選パーティー参加希望」、お名前、ご住所、お電話番号を明記し、お申し込み下さい。

## ♥♥♥ ことわざで開く、アフリカ文化の窓 ♥♥♥ 第5回 『憎しみ』

エル・ハッジ・マサンバ ディウフ （訳・文責 水野）

近頃では、まさに＜野獣の選手権大会＞のような嘆かわしい光景に衝撃を覚えることなく、新聞もインターネットも開くことができないし、テレビもラジオもつけることができません。それは、隣国間や異なる人種間、また異なる宗派同士での争いです。街頭でデモを繰り広げたり、国旗を焼いたり、隣国からの品物を略奪する。他の宗派を声高に批判し、建造物を破壊し、さらには何の罪もない信者達を殺害する。自分達の信条を批判された、侮辱されたということを経験し、他団体だけでなく、そこに属する個人まで攻撃し、生命を脅かすに至る。。。みんな、この同じ星の上で生きていかなければならないというのに。

これらすべての争いは、ひとえに、人々が身をやつす、非寛容と決して正当化できない憎しみの表れです。憎しみ。今回のテーマであるこの言葉は、人々の心を蝕み、隣人同士を引き裂く、最大の悪のひとつであり、誰にとっても、誰に対しても、抱く価値のない悪なのです。なぜなら、人は、しばしば、自分自身の憎しみの犠牲になるからです。南アフリカのズールー人は、このことを良く理解し、憎しみに燃えている人を見ると、こう言って憐れみまします。「ほら！ 中にたくさんの虫がいる木の幹だよ」これがどんなに苦しいか、想

像して下さい。体の中でたくさんの虫が四六時中蠢いていて、内臓を引っ掻き、噛み付き、化膿させる。つまり、私達を内部から破壊するのです。

個人の枠から世の中の話に戻しましょう。すべての社会には争い事がつきものです。しかし、平和に暮らしていく為には、それを解決しようと願って、争いの元を排除していくことが必要です。避けがたくグローバル化の進む私達の社会では、争いの解決＝平和という点について例外はありません。ですから、私達が寛容を賞賛することが必要不可欠となるのです。そして、寛容は、相互理解の為の必須条件である、対話によってのみ生まれます。ですから、カメルーンのフル人は言います。「誰も人を憎みはしない。理解していないだけ」彼等によれば、人を十分に理解すれば、憎しみのすべての元は消えるのです。

けれども、対話の段階にたどり着く為には、乗り越えなければならぬものがまだひとつあります。人々やグループが争い事に至らないとしても、それは相手を受け入れたり寛容であったりするからではなく、軽蔑しているからだ、ということがあるのです。南アフリカのホナ人が、「憎しみの兄、それは軽蔑」と言うように。私は、これを聞いたとき、<兄>というより<母>と言ったほうがいいのでは、と思いました。が、よく考えると、やはりホナ人のほうが正しかったようです。というのは、憎しみは常に軽蔑の後に来るものですが、軽蔑によって生まれるものではないからです。つまり、争いに至る過程での、後先の問題に過ぎません。いずれにしろ、私達に課せられた仕事は、私達の社会を害し、私達の星、地球の平和を脅かす、憎しみと争いの元を排除する、ということではないでしょうか。ですから、まずは、異なった人々やグループの間で、互いを軽蔑するのを止めることです。それから、相互の理解の為に、対話をしましょう。話し合えば、多くのものは収まるのですから。ブルンジのフツ人は、「言葉は怒りを阻む」と言います。

歩み寄れば、相互の理解に至ることができます。今日では、地球上に、憎しみや暴力の代わりに、愛や平和や敬愛を掲げることは、非現実的な夢のように思えるかもしれません。けれども、それをしなければ、平和も安全も決して得ることはできないでしょう。憎しみの種を蒔いて、愛を刈り取ることはできないのですから。最後に、今度はルワンダのフツ人のことわざを引きましょう。彼等は言います。「<嫌い>から<好き>は出ない」。

後記：この章を書く為、「争い」についてのことわざを探していて、コンゴ民主共和国（昔のザイール）のルルワ人のことわざをひとつ見つけました。私は、それを読んで、大いに笑ってしまいましたので、皆様にもご紹介しようと思います。「森の中に罾を仕掛けすぎると、森の持ち主を罾にかける恐れがある」です。面白いでしょう？

### バオバブの会

〒240-0052 神奈川県横浜市保土ヶ谷区西谷町993-35

TEL&FAX 045-373-0059

E-mail : hajmass@hotmail.com

代表 エル・ハッジ・マサンバ ディウフ

寄付振込先:

三菱東京UFJ銀行 八重洲通り支店普通口座

no.1523673ゆうちょ銀行振替口座 00200=1 45215